

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市祐師町3-6 電話24-2456

課題山積 臨時国会ひらいて コロナ第7波 統一協会 国葬 中国地方でいっせいに宣伝

日本共産党の尾村利成県議、舟木けんじ、たちばなふみみ両市議らは8月19日、松江市内で街頭宣伝し、「物価高対策



訴える舟木、たちばな両市議、尾村利成県議

や新型コロナウイルス対応、統一協会、国葬問題など課題が山積している。臨時国会を直ちに開くべきだ」と訴えました。

尾村県議は、統一協会と関係や自民党議員の関係にふれ、「岸田内閣改造後、関係があると認められた関係が8人にのぼり、副大臣、政務官などにも関係を認めた議員がゾロゾロいる。自民党との癒着は底なしだ」と指摘。日本共産党を含む6党・会派が18日、衆参の議長に臨時国会召集要求書を提出したことを紹介し、「臨時国会召集は憲法53条に基づく非常に重いもの。安倍政権、菅政権に続き岸田政権のもとでも臨時国会召集要

求に応じないなど許されない」と強調しました。たちばな市議は、旧統一協会や関連する政治家などが同性婚やLGBTの差別禁止、国際的に認められた性教育を攻撃し教育行政をゆがめてきたと指摘。「多様性を認めよう、憲法が暮らしに生かされる社会を共につくろう」と訴えました。

舟木市議は安倍元首相の国葬について弔意の押し付けはあってはならないと主張、「平和を壊し、暮らしを押しつぶす軍事費2倍化の道は断固として止めよう」と呼びかけました。

市議会9月定例会の日程

日	曜	会議名	
7	水	本会議・決算特別委員会	
12	月	一般質問（会派代表）	
13	火	一般質問（個人質問、一問一答）	
14	水	一般質問（個人質問）、議案委員会付託	
15	木	決算特別委員会（質疑、分担、委託）	
20	火	総務委員会、予算・決算分科会 教育民生委員会、予算・決算分科会	
21	水	総務委員会、予算・決算分科会 教育民生委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会（現地視察）	
22	木	経済委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会、予算・決算分科会	
26	月	経済委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会、予算・決算分科会	
29	木	決算特別委員会（報告、討論、採決） 予算委員会（報告、討論、採決）	
1	4	火	本会議（委員長報告、討論・採決）

日本共産党 100周年



党と共に歩んだ私の半生

人間の尊厳 平和と暮らしをもって

元衆議院議員 中林 よし子

久しぶりに会った山登りの仲間が、「実家の母が今でも話すんですよ。『よし子さんが、困っていることはありませんかと私が働いている道路の工事現場訪ねてきたんですよ。』この時の話を、私は今でもはつきり覚えてます。「見知らぬ家にトイレを貸してくださいとお願いくつとがどんなに辛いことか」。息も詰まる思いでこの訴えを聞きました。トイレもない、休憩所もないそんな現場で働

いている女性たち。私は、1984年、予算委員会での「女性の尊厳をないがしろにするな、トイレの設置を」と訴えました。国の対応は早かったです。労働省（当時）は建設現場に仮設トイレ、休憩所の設置をと全国に通告を出しました。これは、建設工事の現場で働く全国の皆さんに喜ばれた感慨深い仕事のひとつでした。

私は1945年生まれ。2歳の時父が亡くなり、女手一つで母は私たち3人の子どもを育てました。私は島根大学

生20歳のとき学生寮の自治会の活動を通じて日本共産党に出会いました。日本共産党が命がけで戦争に反対したこと、誰もが安心して暮らせる社会を目指して戦後も戦後も不屈にたたかっている事を初めて知りました。国策で朝鮮に行き身体を壊し、引揚後亡くなった父。それなのに何の補償もありません。貧困の中で懸命に働いた母。入党の呼びかけはストンと胸に落ち、日本共産党に入りました。

その日本共産党は、今年、創立100周年。私は半世紀余をこの党と共に生きてきました。大企業の癒着があることを暴露した国会論戦も共産党の真価を発揮したものでした。大根島、それを取り囲む中海、宍道



中海を望む中林よし子さん 故 正森成二衆院議員と

した。党と共に歩んだ活動の中で、一番の誇りは「中海」問題の取組です。「中海干拓淡水化事業」の中止を求めた運動は中海・宍道湖漁協や住民、学者、労働組合など幅広い県民運動と党が結びついた空前の規模の闘いでした。長い粘り強いたたかいの末、ついに「事業」を中止させました。地方議会で党の論戦、私も繰り返し国会で追及、この巨大開発に群がる政・官・大企業の癒着があることを暴露した国会論戦も共産党の真価を発揮したものでした。大根島、それを取り囲む中海、宍道湖のシジミ漁を見るたび、大きな県民的団結とともに、この事業に初めから反対した日本共産党の先見性、40年もの「草の根」の闘いがあったこと思い出します。軍拡、改憲の岸田自公政治のもと、平和と暮らし、人間の尊厳を守り、未来を切り開く日本共産党、100年の歴史の真価を発揮するのは「これから」です。私も歩みは止めるわけにはいきません。